

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		児童発達支援 ベベるいkids				公表日 令和 7 年 3 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・ 適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・ 適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ 余計な物を表に出さない事や必要時に物を移動させる等、活動に集中して楽しく参加できるように環境設定しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・ 毎日 3 回掃除を行って清潔で衛生的な環境に努めている ・ 「動・静」の部屋分けを行い、活動に合わせて使い分けている	
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	空欄 1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	1	・ 開設初年度のため、初めての事業所評価だったので、今年度から適切に実施していきます。	
	7	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	2	4	・ 開所初年度だったが、自己評価及び保護者向け評価を実施し、HPにて公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・ 外部評価を行ってもらう人材の選考を含め、第三者評価委員会の開催を検討していきます	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	1	・ 今後は内部研修の質を高め、事例検討や実践できるように努めていきます。	
	10	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・毎朝のミーティングで支援内容の振り返りをしています。パート職員との情報共有には日誌にて記載し、必要に応じて口頭にて共有する時もあります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々一人ひとりの記録は専用のソフトに入力し、全員が閲覧して確認するように心掛けております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・児発管、日々関わっている保育士が参画するようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		6	・現在、医療的ケアを必要としている児童は在籍していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		6	・現在、医療的ケアを必要としている児童は在籍していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・新規利用の際には幼・保の担任と情報共有を行い、一体的な支援を心掛けています。今後は入学、進級時なども情報共有を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	・新規利用の際には小学校の担任と情報共有を行い、一体的な支援を心掛けています。今後は入学、進級時なども情報共有を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・障がい児地域支援マネージャーの方に事業所に来所していただき、情報共有や支援の助言等をいただいています。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	・公共機関や公共施設の利用はありますが、交流を図る機会を設けられるように検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	4	・児発管が参加しています。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時やLINEにて活動の様子や状況を口頭で伝えるようにしています。必要に応じて電話でのやり取りをすることもあります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	4	・必要に応じて助言等をしていますが、家族支援プログラムとして保護者のニーズを確認・把握し、実施の検討をしていきたいと思っています。
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	34	定期的に、保護者等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	6		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	・保護者会等の開催については保護者様からのニーズも踏まえ、今後検討していきます。
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか	6		
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		6	・地域の方を招待するような行事は行えていません。今後どのようなことが実施できるか検討していきたいと思います。
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6		

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5	・アレルギーについては保護者からの情報をもとに対応しています。今後、必要に応じて医師の指示書を提出してもらう等対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	・ヒヤリハットは都度記録して、事業所内で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	・虐待防止研修にて身体拘束について再周知していきます。対象児童については虐待防止委員会で対応していきます。